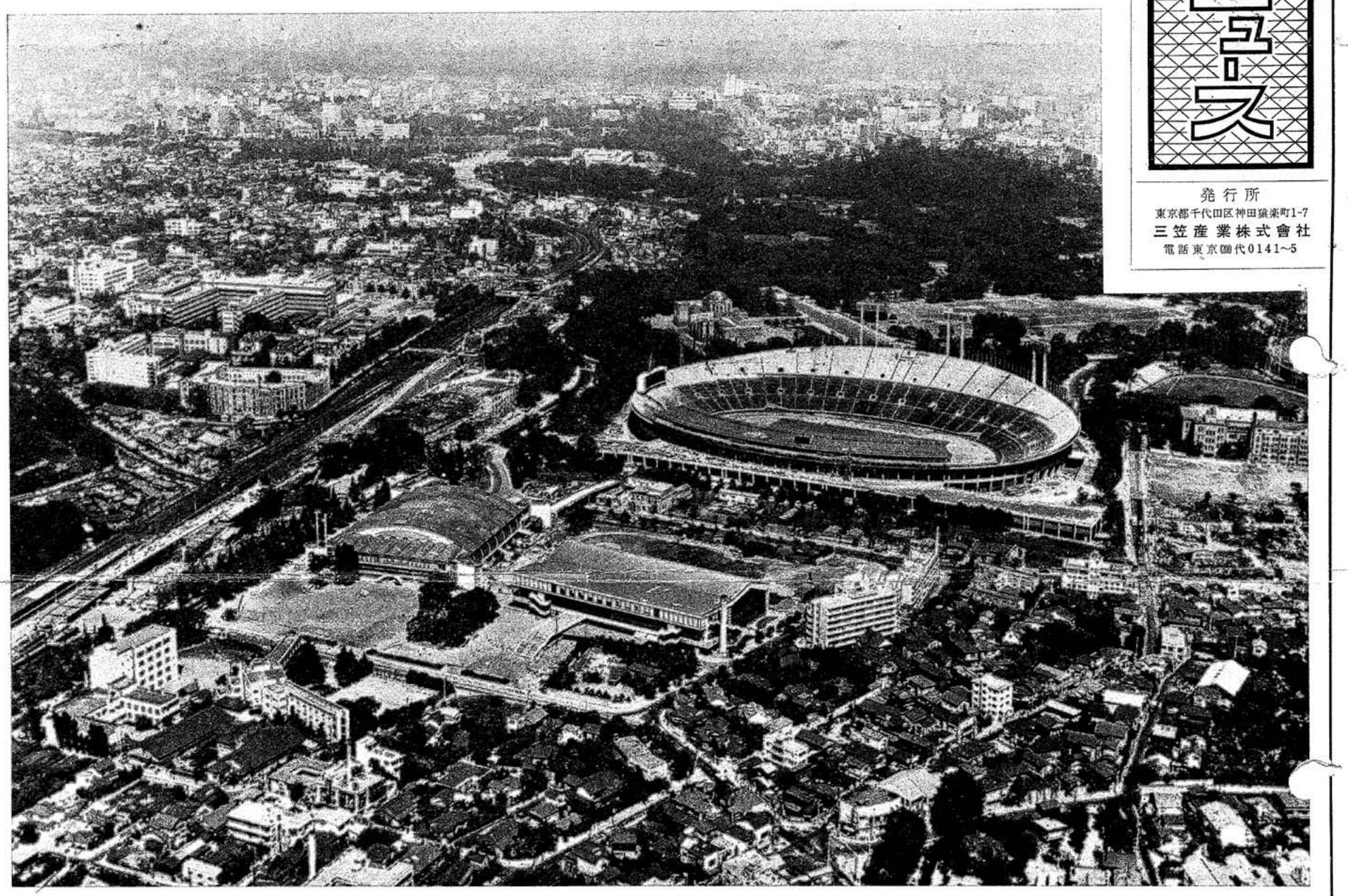
三笠産業ニュース

発行所
東京都千代田区神田猿楽町1-7
三笠産業株式會社
電話東京(0)代0141～5

待望久しき世紀の祭典

東京オリンピック愈々開幕

1964年　第18回　自10月10日 至10月24日

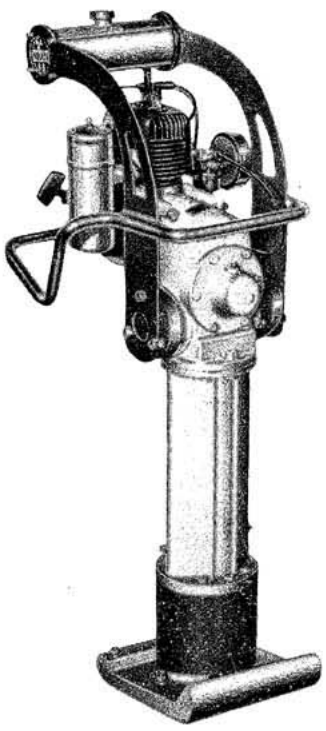


聖火リレーはゴールへ近づき、愈々十月十日から二週間、東京外苑の國際競技場を初め、其の他三十二の会場に於て、二十種目の競技をめぐつて、世界の九十七箇国から集まつた、七千五百人の選手が、四百もの数々の試合に金メダルをかけて覇を競うことになりました。

今回の東京大会の規模は、史上最大のものとか云われているだけに、全国民の地元日本選手にかける期待も洵に大きなものがあると思います。しかしすべては実力の示すところであつて、要はあくまでもフェアーで地元選手らしい毅然たる態度を以てプレーをして欲しいと念ずるものであります。

かつて、東京にオリンピックの会場が決つた時、果して今の日本の国情で、国際的なこの大祭典を引受けて、世界の人々に充分満足していたゞける設備が出来るかどうか。切角お引受けしたものゝ、トツタカ、ミタカに格好だけつけて、後でボロを出すようなみつともないことにならねばよいがと、ひそかに心配したものでした。しかし引受けてしまつたからには、今更後へは退けないのだから何が何んでもやり通さなければならないと云うことで、国民全体が言わずともがな、そんな気持になつて、此の数年間と云うものは国を挙げて、今日のためにあらゆる協力を惜しまなかつたと云つても決して過言ではないと思います。

それが為に政府は直接、間接とを問わず、あらゆる設備に其の総力を傾け、曰く東海道新幹線、曰く地下鉄、曰く首都高速道路、曰くモノレール鉄道等、其の交通機関のすべてはこれ一つとしてオリンピックを目途として施工されていないものはありませんでした。都内にそゝり建つ豪華な高層ホテルも又然りであつて、この建築は東京ばかりでなく全国至るところの温泉地や観光地は先を争つて完成を急がせていたのでした。そうしてこれに伴う地方道路も又急ピッチに舗装され、外人客誘致のために万全を期していることが、どこを覗いて見てもハツキリと窺うことが出来ました。

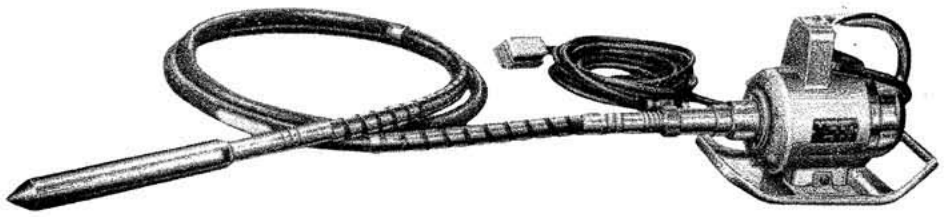


斯くして日本は、このオリンピックのお蔭で見違えるような立派な国造りが出来ました。しかも短期間によくもこうまで早く出来上つたものだとつく〴〵感心させられました。若しも三十九年十月十日と云う完成目標がなかつたら、おそらくこれから先、一年かゝつてもどうなつたかわからなかつたと思います。

何れにもせよ、今此処に此の大偉業を成し遂げられた担当者各位の御労苦を思うとき、技術者の固い御信念による精神力と強い責任感、労務者諸君の不屈の闘魂と倦むことなき体力とに対し満腔の敬意を捧ぐると共に其の御努力に対し深く感謝の意を表します。

又我が社の製品も此の諸工事に参加し、御協力をさせて頂きましたことを深く誇と致しておるものであります。勿論全体的に見れば、洵に微々たるものではありましたが、幸い御理解ある現場の方々の手によつて、より以上の真価が発揮され、記念すべき東京オリンピックにいさゝかなりともお役に立たせて頂けましたことを無上の光栄とし、開幕を明日に控えて其の感激一入新たなるものがございます。

此処に心から慶祝の意を表すると共に其の御成功を祈つてやみません。



日本最初のアメリカ向 技術輸出 成る

ブロー・ノックス社から 三笠製品の製造販売を要請

アメリカの第一級産業機械メーカーであり、大型道路建設機械部門に於ても世界一の実績を有し、先に小松製作所がその技術を導入しているアメリカ・ペンシルバニヤ州ピッツバーグ市に在るブロー・ノックス社では昨年の建設博に展示した三笠製品の優秀性に着目して、昨秋以来某貿易商社を通じて、これが製造販売許可の申入れを行つていたが、その意思が充分に我が社に伝わらなかつたので、むなしく九ヵ月ほど経つてしまつた。ところが最近直接交渉が進展し、双方話合いの場をつくるところまでになつたので、ブロー・ノックス社から総支配人のソロンバーク氏、販売責任者エツケル氏の来日が決定して、七月二十日、ノースウエスト航空にて来日、翌日から三笠本社会議室に於て、三笠側京谷専務、吉田常務、高野営業二課員、ブロー・ノックス側前記二氏とオブザーバーとして住友商事の川本機械輸出課長、大塚課員等出席の下に、会議が開かれ、長時間にわたり相互の隔意ない意見の交換を行ない、製造販売許可協定の具体的内容の審議に入つて第一日を終つた。

社長室にて，前列左から吉田常務，エツケル氏，京谷専務，ソロンバーク氏
後列大塚氏，川本課長，高野課員

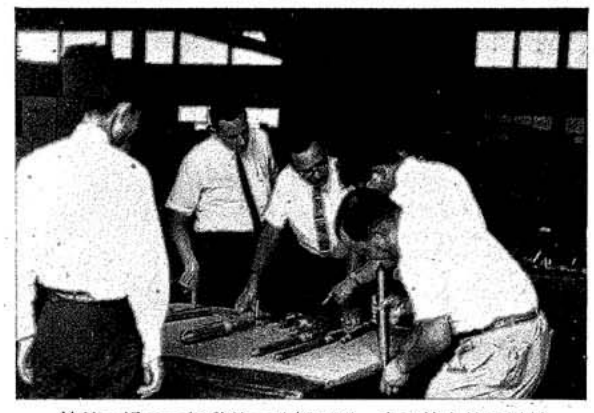
次いで一日置いて二十三日、再び具体的審議を続行し、最終的には相互信頼を基礎とした我が社側の条件を殆ど受け入れた協定書の原案が作成されて此の会議は終始和やの裡に終了した。

夕刻から京谷社長招待の歓迎レセプションが八芳園で催され、華やかな雰囲気の内に、両社の信頼と親密感が深められて行つた。

八芳園にて　左よりソロンバーク氏，京谷社長，エツケル氏

翌日は早朝から館林工場及び足利電機工場を熱心に見学され、各工場に於ける、粒の揃つた工員達のたくましい作業振りに目を見張り、次々に仕上げられる素晴らしい部品の出来ばえ、精度の正確さ等あらゆる面での、我が社の技術を更に大きく評価されたらしく今後の部品購入に際して一層強く認識を深められた模様であつた。

最後に、今回の来日の第一目的である貴社との会談がスムーズに運び、すべてが有効裡に終始されて、まことに貴重な収獲であり、其の見聞するところ極めて充実した日々でもあつた。三笠との交渉がこの様に僅か三日と云う短期間に於て、かくも和やかに取決められたことは実に我々にとつて嬉しい極みであると、驚嘆と感謝の言葉を残して日本を去つて行つた。



館林工場にて振動筒の分解説明，右手前小林工場長

八月十五日ブロー・ノックス社より東京に於いて打合せた事項の全てを包含した協定書が送られて来た。

通産省では十月一日付を以て此の輸出を許可したので、此処に日本最初の建設機械の対米技術輸出協定は締結され、これにより製造された全社の機械の総てには「三笠産業株式会社の製造許可を得たるもの」と銘記されたプレートが打込まれて、アメリカ、カナダ、メキシコの三国内で販売され、やがて広く全世界に三笠製品の優秀性が知れわたる時代も来ることであろう。其の第一歩を今此処に印したわけであつた。

憶うに日本の技術が、先進国であるアメリカに買われると云うことは、思いもよらざる事であり、洵に名誉なことであると同時に其の責任の極めて重大なことと痛感するものである。

謹告!!

此度米国ブローノックス社と当社との間に技術輸出協定が締結されましたので爾今アメリカ、カナダ、メキシコ向の販売は全社に委任することになりましたから御諒承願います。

昭和三十九年十月一日

三笠産業株式会社

代理店各位殿

館林工場にて　タンピングランマー運転説明

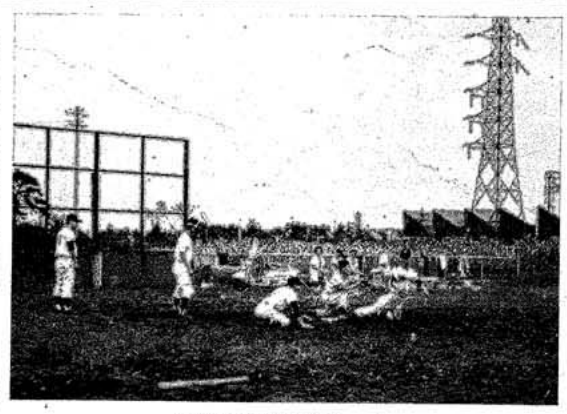
館林工場にて　中型振動ローラーの運転説明

俳句募集

当季雑詠　一人　五句以内
用　紙　ハガキ又は便箋縦書
締　切　十二月十五日
次号（一月）に発表
佳作（○印）には薄謝を呈す

野球ニュース

八月二十三日（日）埼玉県大宮市の富士重工グランドにて、中道機械さんの新宿、目黒、荒川の各営業所ならびに中道重工の連合チーム加藤次長以下のエースと、三笠本社チームが親善野球を行いました。



熱戦を続ける両チーム

試合は午後一時三〇分中道チームの先攻で開始され、北川課長陣頭に立ち奮戦されましたが、三笠チームは五回を除き毎回得点し、八対三で三笠チームに凱歌があがり、午後三時四〇分試合を終了しました。

当日は曇り空で暑い真夏の太陽に照らされることもなく、楽しい一日を過しました。

（森報）

三笠本社チーム、メンバー左の通り。

潟沢本崎島目木光畑
佐大坂山中夏鈴堀長
（2）（捕）（遊）（1）（中）（3）（投）（右）（左）

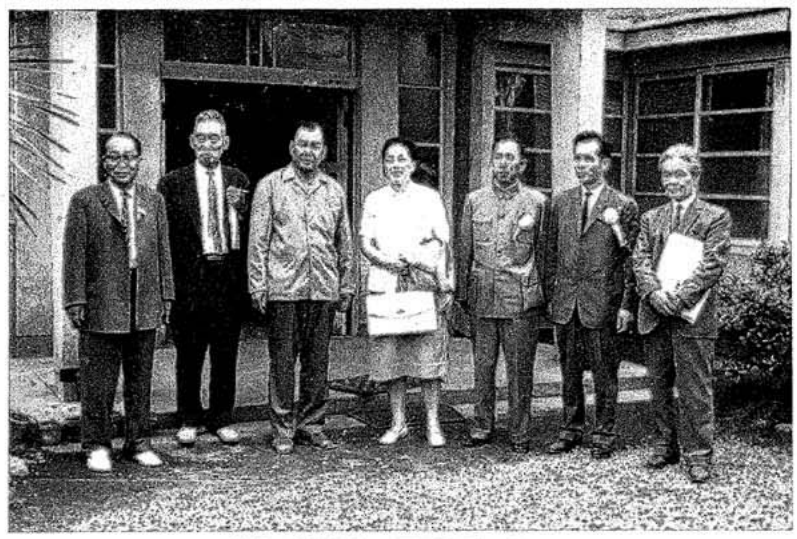
三笠産業俳句

穂波選

風鈴や台風予報出て幾日　東京　坂根和子
神宮の森に映へたり五輪の火　横浜　村松春陽
ガス燈の匂いなつかし祭の夜　東京　森昭男
○赤々と病む眼にしみる葉鶏頭　館林　長谷川金雄
熔接の貌上げ老工喜雨に佇つ
休日果つ夏草刈りし子を洗う
○終業の電源切るや虫の声　戦後　吟
秋波は舟ゆりあげて魚信絶ゆ
そゝろ寒む船酔いかこち釣果なく

訪日天津市代表
羅雲女子ら来場

羅雲女史を団長とする中国天津市代表団は、馮考・呂平の両氏と共に六月八日午前十一時館林市に到着、全市を挙げての熱狂的歓迎を受けた後、五星紅旗のひるがえる市役所に入り、市長、議長、教育長等と懇談後屋上から市中を展望して、正午頃正田醤油会社を訪問、続いて午后二時より当社館林工場に来訪された、当工場では京谷社長は不在だったが小林工場長以下全工員が玄関前に勢揃いして拍手で出迎え、各種の建設機械を試運転したり、御説明したりして工場挙げての大歓迎に代表団も、熱心に質問を行ったり自から機械にふれて見たりして大変御満悦の態であった。バイブレーターは多少ながら某方面の手から中国へ輸出されてはいるが、余り実用されていないので中国々際貿易促進委員会に所属されている馮考氏らは熱心にメモして居られた、やがて社長室で御休憩の後、群銀三階ホールに於ける市民の待つ歓迎レセプション会場へ向われた。


館林工場玄関にて羅雲女子と並んで

館林工場にてサンダーの運転説明

館林工場にてコンパクターの運転説明

巡回サービス

本年は特に新製品のPRに重点を置いて、サービス員も新進気鋭の若手営業マンとエンジニヤを組合せ、松本へサービスカーを回送して、先づは信濃路からスタートすることになった。

A組（松本、伊那、飯田、木曾福島地区）
サービスカー乗務員　恒吉（営業第一課）
松島（技術部）
搭載機　MVCP型ポータブル斜面輾圧機
MTRI120型タンピングランマー
MRVI10型インパクトローラー
第一日　六月一日（月）晴
巡回先（諏訪、茅野、岡谷）
第二日　六月二日（火）晴
巡回先（長野、伊那）
第三日　六月三日（水）雨後曇
巡回先（飯田）
第四日　六月四日（木）雨後曇
巡回先（木曾福島）
第五日　六月五日（金）
巡回先（塩尻、松本）
全走行料数　六一四粁
地区代理店　双葉工業(株)、中道機械産業(株)
永和工業(株)

双葉工業飯田営業所前にて

所感　各地共代理店の御誘導で一日十数ヵ所のユーザーを御訪問して、搭載機を実演したり、或は車上で現物説明したりして、只管新製品のPRに努める一方、既に御使用されているものについても簡単に、御修理や手直しの出来るものとか、操作上の細かい点で多少喰い違いなぞのあったものは、これを是正して御納得の行くよう御説明申し上げたり、其儘現場にある機械を操作して御覧に入れたりして、限られた時間で充分なことは出来なかったが、あたう限りのことをして来たつもりです。お蔭で大変皆様に喜こんでいたゞけたことを何よりと思っています。（恒吉報）

B組（大町、長野、須坂、中野、上田、佐久）
サービス乗務員　平戸（営業第一課長）
浅野（技術部）
第一日　六月六日（土）曇時々晴
巡回先（大町）
（サービスカーを長野へ回送）
第二日　六月八日（月）晴後雨
巡回先（長野）
第三日　六月九日（火）曇時々雨
巡回先（長野）
第四日　六月十日（水）晴
巡回先（須坂、中野、上田）
第五日　六月十一日（木）晴
巡回先（上田、丸子、橋場、和田
佐久）
（サービスカーを本社へ回送）
全走行料数　六五〇・九粁
地区代理店　双葉工業(株)、長野機械(株)
中道機械産業(株)

大町市公民館に於ける講習会，講師平戸課長

所感　新宿を発って松本へ入る前に、甲府に下車して、三和建材興業(株)、中道機械産業(株)の両代理店を御訪問して御挨拶した。

私達の巡回した地区で砂防堰堤工事の多いところでは、当社のバイブレーターがよく使用されていた。しかし輾圧機類は未だ充分行き渡っているとも思えなかった。（平戸報）

C組（仙台、石巻）
サービスカー乗務員　星野（営業二課長）
浅野（技術部）

信州路から帰って来た、サービスカーを今度は東北路へ廻すべく、星野、浅野の乗務員の手によって午前七時小雨の中を東京本社を出発、其の日の午后三時半仙台に入る。

第一日　六月十五日（月）曇後晴
巡回先（仙台）
第二日　六月十六日（火）晴時々雨
巡回先（仙台）
第三日　六月十七日（水）晴
巡回先（仙台）
第四日　六月十八日（木）晴
巡回先（仙台）
第五日　六月十九日（金）晴
巡回先（石巻）
第六日　六月二十日（金）雨
巡回先（石巻）

仙台熊谷組青葉山東北大工学部新築作業現場

全走行料数　七三七粁
地区代理店　親和機械工業(株)中道機械産業(株)
山木屋商事(株)

所感　巡回して見て修理品の故障原因を調べて見るとエヤークリーナーエレメントを洗条せずに使用したり、グリースを多量に入れ過ぎたり、甚だしいのになると使用後雨曝にしてあるものもあった。（星野報）

D組（小牛田、古川、築館、一ノ関、千厩、大船渡、釜石、宮古、遠野、花巻、北上、水沢、盛岡）
サービスカー乗務員　高野（営業第二課）
松島（技術部）
第一日　六月二十二日（月）晴
巡回先（小牛田、古川、築館）
第二日　六月二十三日（火）晴
巡回先（一ノ関、千厩）
第三日　六月二十四日（水）晴
巡回先（大船渡、釜石、宮古）
第四日　六月二十五日（木）晴
巡回先（宮古、遠野）
第五日　六月二十六日（金）晴
巡回先（花巻、北上、水沢）
第六日　六月二十七日（土）晴
巡回先（盛岡）
全走行料数　九〇〇粁
地区代理店　三洋機械(株)　中道機械(株)
青工商事(株)

所感　今回のこのキャラバンによる需要家に与えた影響は誠に多大なものがあったと思うが、年一度のサービスカーが各代理店に対し年中行事の一つと思われることのないよう絶えず市場の動きを把握して代理店の要望に対し善処すべきであると思った。（高野報）

E組（八戸、十和田、陸奥、青森、五所川原弘前）
サービスカー乗務員　鯉沼（作業係長）
畑島（営業二課員）
第一日　六月二十九日（月）晴

築館市4号国道工事現場　高勝組，上田建設施工

八戸市役所水道部ランマー実演

秋田市第一建機工業（株）現場にて

第二日　六月三十日（晴）
巡回先（八戸十和田、六戸）
第三日　七月一日（水）晴
巡回先（田名部、陸奥、大湊）
第四日　七月二日（木）雨
巡回先（青森）
第五日　七月三日（金）晴
巡回先（弘前）
第六日　七月四日（土）晴
巡回先（青森）
巡回先（五所川原）
全走行粁数　七二〇粁
地区代理店　青工商事（株）　前田産業（株）
中道機械（株）
所感　今回のサービスカーで廻って、総じていえることは、青森県下の各代理店は地味ではあるが、熱意と潑溂とした活動力を感じた（畑島報）

F組（弘前、大館、秋田、大曲、横手、湯沢山形）
サービスカー乗務員　磯部（技術部主任）
中島（営業二課員）
第一日　七月六日（月）曇時々小雨
巡回先（弘前、平賀、黒石）
第二日　七月十日（火）曇時々小雨
巡回先（大館、能代）
第三日　七月八日（水）小雨後晴
巡回先（秋田）
第四日　七月九日（木）小雨後曇
巡回先（角館、大曲、六郷、横手）
第五日　七月十日（金）雨
巡回先（秋田）

会津若松市荏原建設現場にて

第六日　七月十一日（土）小雨後晴
巡回先（湯沢、増田、山形）
全走行粁数　六八九粁
地区代理店　外崎鋼鉄（株）　青工商事（株）
中道機械（株）　（合）菅長
所感　此の地方の巡回サービスの時機は一月から三月頃までが適当だということであり、何れも其の時期を希望して居られた様である。（中島報）

G組（新庄、山形、上ノ山、赤湯、米沢、福島、猪苗代、会津若松、平、那珂湊）
サービスカー乗務員　堀光（営業二課員）
坂本（技術部）
第一日　七月十三日（月）晴
巡回先（新庄）
第二日　七月十四日（火）雨後曇後雨
巡回先（山形、上ノ山、赤湯、米沢）
第三日　七月十五日（水）曇
巡回先（福島、猪苗代）
第四日　七月十六日（木）雨後曇後雨
巡回先（会津若松）
第五日　七月十七日（金）雨
巡回先（会津若松）
第六日　七月十八日（土）曇
巡回先（平、那珂湊、東京）
全走行粁数　七五四粁
地区代理店　中道機械産業（株）　山木屋商事（株）
佐藤建設機械（株）
所感　120型ランマーは好評で先の見透しが明るい、一通間の巡回期間中晴れた日が二日しかなく天候に恵まれなかったので思う様に実演出来なかったのが残念だった。（堀光報）

新潟震災を見舞ふ

六月十六日の午后一時頃東京地方に近頃珍らしい大ゆれの地震が感ぜられた。どこかに大きな地震が起つたのではないかと云う余感がしたので、すぐさまテレビのスイッチを入れて見ると何んと新潟の大地震が報ぜられたのであつた。刻々と知らされるニュースそれも総ての交通機関が破かいされているので適格なことを知ることは出来ないが、かつての関東大震災を知る者には充分想像出来る惨状ではなかろうかと思うと身の毛のよだつ思いがした。

其後次々に新潟市及び其周辺の被害状況が判明して来たので、兎も角も急いでお見舞に伺がねばと云うことで翌十七日、ハイヤーに積めるだけの米や缶詰などの食糧を用意して午后二時、平戸課長が恒吉、山崎の両営業部員を同乗させて本社を出発、一路現地に向つた。三国峠附近より未舗装の悪路が続き、救援のため派遣された自衛隊の大部隊や見舞の車が延々長蛇の列をなして遅々として進まず、漸くの思いで六日町にたどりついたのは夜も可成り更けた頃であつた。此処で、飲料水と野菜を積み込んで六月十八日午前零時三〇分頃長岡市内に入つた。するとたちまち検問所にひっかかって、三条より先は救援部隊若しくは緊急物資の配給車以外は一切通行まかりならぬと云うことで、一同思案に暮れてしまつた、此の時幸運にも自衛隊の救援車がノと入つて来た、其処でそれ行けとばかり中にもぐり込んで首尾よく此の関所を突破することが出来た。それから新潟市内に入つたのは真夜中の午前二時半頃で、東京から此処までの所要時間は何んと十二時間半に及んだ。市内は暗がりではあるが震源地に近いだけに災害も極めて大きく、至るところ道路が亀裂して巾一米にも及ぶ無気味な口を開けて陥没している形相には慄然とさせられた。万代橋の上で偶然にも白勢商事の高橋氏に出逢つたので、これ幸いと直ちに白勢商事をお見舞して、白勢社長にお目にかゝり僅かではあるが持参の見舞品をお渡しして、社長の御厚意により三時から六時まで事務所で仮眠させて貰つた。全社事務所は無事だつたが裏の社長宅が相当大きな被害を蒙つて居られた様だつた。午前七時遠藤鋼機をお見舞し、専務、長井課長、渡辺氏等にお逢いして見舞品をお渡しする。全社は裏が信濃川に接しているため其の被害も甚だしく、事務所、専務宅は傾き内部は津波に襲われて、めちゃくちゃに破壊されていた、全くお気の毒の極みでお見舞申上ぐる言葉も出なかつた。引続き江口代治郎商店を見舞い社長及高橋氏にお逢いし、更に進んで新潟鉄工(株)と日新興業(株)の両社を訪れ社長、専務にお逢いして何れもお見舞品をお渡しする。この三社共被害は殆どなかつた模様であつた。午前十時三〇分中道機械産業(株)をお訪ねして太田次長、村上支店長にお目にかゝりお見舞品をお渡しする、全社の前は道路が一米も盛り上り事務所は沈下した上更に傾いて見るも無惨な姿であつた。

関東大震災のことは聞かされていたが、さて来て見ると其の被害の余りにも大きいのには只々驚く外はなかつた。午前十一時三〇分新潟を立ち、帰途三条の近藤与助工業(株)と長岡の鉄建工機(株)の両社をお見舞して御無事をお見とゞけした上、六月十九日午后四時帰社した。

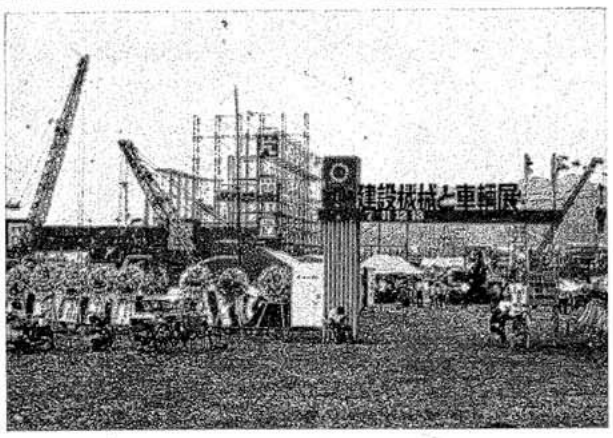
陸に打ち上げられた運絡船

静岡展

自七月十一日　至〃　十三日

主催　静岡県
後援　静岡県建設機械化協会
会場　静岡市駿河大橋北安部川広場

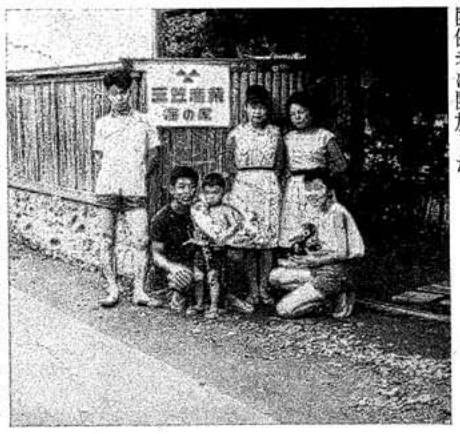
静岡の建設機械展は市を挙げての祭典とも云えるほど大仕掛けなもので、建設機械展と車輛展を一緒にして、今年で第十回を迎え、会場も駿府公園から広い安部川原に移され、七月十一日から三日間毎日午前十時から午后六時まで賑々しく開催された。当社も当地の永年の代理店である片岡屋さんの小間の一部を使わして貰つて、連日PRに努めたわけである。この展示会は十日から始まった国土建設週間の一行事として実施されただけあつて、県当局の力の入れ方も又大きく、出品参加社は重機械を始め、各種の建設機械メーカーが、それぞれ独自の展示方法により新機種を出品し、特に重機械類の実演会場も設置されていて、実際に実のある展示会であつた。我が社では特に新製品である、ポータブル斜面輾圧機、錐振型内部振動機、100型タンピングランマー等の外MRD10型振動ローラーをも実演して観客に多大の感銘を与えた。会場が市内のはづれだつたので、交通不便のためか一般の観客は少なかつたが、官庁関係や建設業者など直接の需要家の多かつたことは頗る効果的だつた、そんなためか我が社独特の製品であるポータブル斜面輾圧機も再度にわたり実演を要求され、殆ど休む暇もなく連続運転を続けさせられ大好評を博した。（大沢報）



三笠海の家だより

自 七月一日　至 八月三十一日

七・八月の二ヶ月神奈川県逗子市新宿に三笠海の家を開設し、社員、家族、およびその関係者に開放した。



七月の初めは梅雨の名残りで天候もぐづ付き気味だつた為か、あまり、利用される方も居ませんでしたが、お天気も定まり暑さも厳しくなつた七月下旬頃から、八月中旬にかけては、連日満員の盛況で、定員超過でせつかくの申込をお断りすることもありました。因に、本年の利用者数は延五三〇人で利用率は三十五%でした。

八月の初め頃から逗子の海岸には、電気クラゲが出たり、虫にさゝれた人も居ましたが、これによる被害者または事故を起した人も無く全くの無事故で終了したことは、利用者各位の日頃のお心掛けの賜物と係員一同感謝して居ります。（森報）

三笠親和会春の旅

五月九日　熱海つるやホテルにて

今年も又熱海行となつた。そこで、何時も同じ様なコースを通つていたのでは面白くないと云うことで、江の島に渡つて昼食をとることにした。来て見れば結構吾々でも楽しめる憩い場所である。昔の木橋は何時しか、コンクリートの橋と変り、しかも人道と車道の二つになつて近頃は橋銭も取らない、江の島寄りの橋のどん詰りから左えと広大な海面を埋め立て其処に海浜公園が出来て駐車場を兼ね、オリンピックのヨットハーバーが設置されるとのことで目下盛んに建設中であつた。

やがて江の島を出て、大磯から小田原え入り、小涌谷から強羅を経て湖尻に下り、新らしく出来たばかりの芦の湖スカイラインの景色に魅せられながら新緑の箱根を存分に満契して、十国峠を越え熱海峠を下りて湯の町つるや旅館に着いたのは六時頃でもあつたか。（磯部報）